

平成24年度
事業計画書

I. 事業計画	61
施設環境の整備	62
情報環境の整備	64
教育課程の充実	65
広報活動	66
収益事業	68
II. 設置校が取り組む事業計画	70
女子大学	70
中学校高等学校	71
III. 平成24年度事業計画の事業費及び実施予定	77
IV. 平成24年度跡見学園収支予算について	80
1. 平成24年度収支予算書	80
(1) 資金収支予算書	80
(2) 消費収支予算書	83

I. 事業計画

国全体の外貨を稼ぐ力を示す経常収支は、これまで貿易黒字が大きいことで日本が貿易立国であることを示してきました。しかし、平成23年度からは、貿易収支が東日本大震災後の影響やイラン情勢等の悪化で大幅な赤字となり、それを海外への投資から得られる所得収支の黒字では補いきれなくなって、平成24年1月分では過去最大の赤字（昨年同期より約1兆円の収支悪化）となりました。景気低迷のまま経常赤字が続いて国内の貯蓄が減少すれば、残高が急激に巨額化している国債の発行を国内だけでは買い支えきれなくなって財政の悪化が国債金利の上昇に結びつきやすくなり、財政の悪化に一段と拍車がかかることとなります。我々が責任を担う教育の世界もまた、このような状況と無縁ではられません。

日本私立学校振興・共済事業団の平成22年度決算集計調査によると、厳しい競争的環境を生き抜くため学校法人が過去に蓄積してきた預金等の資産状況について、平成14年度からは、増加する要積立額（退職給与引当金、第2号基本金、第3号基本金、減価償却累計額の総計）に対し、預金等の資産確保が追いつかなくなっており、不足額は年々増加の一途をたどっています。

学校法人の経営状態を示す消費収支で、健全な経営には10%以上必要とされる帰属収支差額比率については大規模法人が高く、一方、学生数が8千人未満の学校法人では平均2%台以下に止まっています。帰属収入で消費支出が賄えない帰属収支差額比率0%未満の学校法人の割合は38.2%（203/532法人）に上っています。このマイナス分を過去の自己資本の蓄積を取り崩して補う状況がこのまま続けば、施設・設備等の建替えなどができなくなって老朽化が進み、やがて教育活動にも支障が生じる可能性があります。

また、平成23年度の私立大学の入試状況（一般・センター方式）を見ると、予備校が「大規模21大学」と呼ぶ私立大学の志願者数は、私大全体の受験者数（約275万人）の47.2%を占めるに至っています。私立大学のうち、入学定員充足率100%未満の大学は39.0%（223/572校）に上ります。規模別入学定員と入学者の状況については、入学定員600名～800名未満を境にして、それ以上の規模の大学が定員を充足し、それに満たない大学は定員割れを起こしています。「首都圏女子12大学」の平成23年度入試では、志願者数が前年度より7%減少しています。

卒業予定者の就職についても、依然として「超就職氷河期」の厳しい状況にあることは言うまでもありません。

今後、少子高齢化がさらに進み、また東日本大震災後の長引く影響や消費税の増税等も見込まれ、景気低迷はさらに進むことが予想されます。私学を取り巻く競争的環境も、二極化が一段と進み、これまで以上に厳しさが増すことが確実であります。

このような厳しい環境の中であって、学園が置かれている立場は、決して恵まれたポジションを占めているとは言えません。多様化する生徒・学生や保護者の教育ニーズに応えていくためには、これまで学園を支えてきた健全な財務基盤をより強固なものにしつつ、改革の歩みを止めないということが、この厳しい環境に耐える上で最も肝要であると考えております。このために、平成24年度もまた、将来を見据え学園の財務基盤を堅守する強い覚悟が求められます。

このような基本認識を踏まえ、平成24年度の事業計画の柱については、次の項目を掲げることといたしました。

I. 基本的な事項

- ① 伝統ある跡見が今後とも存在意義の高い私立学校として生き残っていくためには、ステークホルダーの目線に立った教育の質的向上が不可欠であることから、それを経営面から支える確固とした財務基盤の確立を目指す。
- ② 大学都心回帰の潮流や首都圏の人口動態も視野に、大学創立50年を迎える新座キャンパス及び文京キャンパスの再整備について総合的な検討を行う。
- ③ 大学規模の拡充及び教育組織の再編の観点から、21世紀社会の動きを勘案しつつ、どのような教育分野に立つ新学部・学科が跡見に必要な検討し、具体化を図る。

- ④ 生徒のモチベーション向上を目指した教育内容の充実を図り、中学入試や大学進学の実績向上に確実に結びつけていく。
- ⑤ 教育の質的向上に向けた取組み、研究の成果及び財務の情報を系統的に整備し、外部に分かり易く発信する。
- ⑥ 事務組織を再点検し、教職協働も視野に学園発展を支えるべく職員の能動力と連携力を最大限に発揮させる。

II. 具体的な課題

- ① 健全な財務運営のため、事業計画（目的）別予算編成方式を実施するとともに、今後10年間の財務シミュレーションを継続的に行う。
- ② 遺贈の寄付制度を新たに設けるとともに、跡見学園教育施設維持資金募金を引き続き実施する。
- ③ 「平成26年度改革」に向けて大学に外部委員を含む学部設置準備委員会を発足させ、新たな教育課程の再構築を進める。
- ④ 中学8クラス制の拡張、中学7時限目補習授業の充実、希望制の難関大学受験クラスの設置、中学1年から高校2年に英語特別クラスの設置、高校カリキュラムの全面的見直し（大学系統別コース制の導入）により、引き続き「入口」の中学偏差値向上及び「出口」の難関大学入試合格力の向上を図る。
- ⑤ 平成23年度実施の学校評価アンケートの結果、「早急に改善すべき項目」に対処する。
- ⑥ 新座1号館の耐震補強工事、災害用備蓄、及びサーバーを外部のデータセンターに移設することによる学園ネットワーク再構築等の防災対策を実施する。
- ⑦ 学園関係の既存ホームページを、洗練されて印象深く分かり易い内容に裏打ちされ、外部に高い訴求力を備えたホームページに一新する。
- ⑧ 職員評価の実施体制を整備し、経営評価指標の改善と職員育成との一体的な推進を図る。
- ⑨ 拡大課長会議をベースとして、事務管理職の役割を見直し、情報共有・事業評価・目標管理による業務の改善を引き続き進める。

以上の事業を確実に遂行するためには、高い財務規律に裏打ちされた強固な財務基盤に立ち、学園の将来の発展に向けて着実に準備を進めて行かなければなりません。学園が不動の「選ばれる私学」たり続けるため、引き続き、関係各位のなご一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

*女子大学関係のなかで「新」は新座キャンパス、「文」は文京キャンパスを示す。

【施設環境の整備】

◎女子大学関係

① 新) 仮設校舎の設置

平成18年度の新学科増（コミュニケーション文化学科及び生活環境マネジメント学科）に伴う学生数増加に対応するため、体育館脇駐車場に100名程度収容できる仮設教室3教室を3年リースで設置したが、今後も本仮設教室の利用が見込まれるため、設置を継続する。（仮設教室：1号棟360.72㎡、2号棟180.36㎡）

② 新) 1号館耐震補強工事

新耐震基準（昭和56年6月1日）施行以前に建築された1号館の耐震補強工事を行う。

③ 新) グリーンホール（食堂棟）1階トイレ改修工事

明るく快適なものにするため内装及び設備劣化更新を行う。（フロア・リニューアルからの継続）

④ 新) 災害用発電機設置工事

既設プロパンガスを利用した発電機を設置する。

⑤ 文) 1・3号館建物外壁劣化診断

建築基準法関連の改定により外壁劣化診断を行う。

⑥ 新) クラブハウス屋上及び外壁補修工事

屋上及び外壁の経年劣化の進行が見られるため補修工事を行う。

- ⑦ 新) 図書館棟照明設備改修工事
機器の設置から20年が経過し、劣化が見られるため、改修工事を行う。
- ⑧ 備蓄用品購入
非常用として備蓄用品を購入する。

◎中学校高等学校関係

- ① 自家発電設備設置及び発電機購入
トイレ等の水廻りの確保のため、停電時の非常電源としての発電機を設置する。
- ② 昇降階段（段鼻）タイル張替工事
安全対策として段鼻部分のタイルの張替を行う。
- ③ 李子記念講堂外部出入口建具改修工事
老朽化により建具廻りの改修を行う。
- ④ 生徒用ロッカー更新
老朽化によりロッカーの更新を行う。
- ⑤ 校舎内塗装工事（跡見講堂・校舎間等廊下壁・天井）
築21年経過の内壁汚れ対策のため塗装を行う。
- ⑥ 特別教室カーテン更新
経年劣化に伴い、カーテンがすりきれているため、更新を行う。
- ⑦ 各教室時計更新
電池時計から電波時計に更新を行う。
- ⑧ 大アリーナバスケットコートライン引直し
バスケットのルール改正に伴うコートラインの引直しを行う。
- ⑨ 選択教室改修工事
中学2年の8クラス編成に伴い改修工事を行う。
- ⑩ プールタイル目地改修及び滑り止め処理工事
老朽化により改修工事を行う。
- ⑪ 大アリーナ舞台機構及び調光設備改修工事
機器の製造から21年が経過し、劣化が見られるため、改修工事を行う。
- ⑫ 校舎内空調設備改修工事（第1期）
設置後22年が経過し、経年劣化によるトラブルが発生する可能性があるため、改修工事を行う。
- ⑬ 備蓄用品購入
非常用として備蓄用品を購入する。

◎法人関係

- ① 屋上防水工事
防水層の経年劣化の進行が見られるため防水工事を行う。
- ② 備蓄用品購入
非常用として備蓄用品を購入する。

◎北軽井沢研修所関係

- ① 給湯配管更新工事（3期）
経年劣化による配管の更新工事を行う。
- ② 防災盤及び電話設備改修工事
経年劣化により改修工事を行う。

◎学生寮関係

① 給茶機更新

経年劣化により更新を行う。

【情報環境の整備】

◎女子大学関係

① 卒業生等の単位修得証明書等の電子ファイル化

紙媒体のみで管理されている書類を電子ファイル化し、恒久的かつ安全に保存・管理する。

② 文) 2号館マルチメディア学習ラボ設置

教員による教材作成支援及び学生による高度な自習環境ならびに協調学習環境を提供するため学習ラボを設置する。

③ 新) 図書館視聴覚ホールAV関連機器改修工事

機器の設置から20年が経過し、劣化が見られるため、改修工事を行う。

④ 新) 証明書発行機ICカード化対応

学生証のICカード化に伴う設定変更を行う。

⑤ ネットワークシステム更新

リース期間満了に伴い、機器を更新する。

⑥ リプレイス対象外のサーバー移設作業費及び再設定費

データセンターへの移設に伴う作業を行う。

⑦ 文) 証明書自動発行機更新

リース期間満了に伴い、機器を更新する。

⑧ 新) 出席管理システム更新

リース期間満了に伴い、機器を更新する。

⑨ 新) 3号館インタラクティブスペースPC更新

リース期間満了に伴い、機器を更新する。

⑩ 文) 1号館教員研究室・2号館ミーティングルームPC更新

リース期間満了に伴い、機器を更新する。

◎中学高校関係

① ネットワークシステム更新

リース期間満了に伴い、機器を更新する。

② 校務システム機器更新

リース期間満了に伴い、機器を更新する。

③ Webサーバー更新

リース期間満了に伴い、機器を更新する。

④ 李子記念講堂AV設備改修工事

機器の設置から21年が経過し、劣化が見られるため、改修工事を行う。

◎法人関係

① ネットワークシステム更新

リース期間満了に伴い、機器を更新する。(データセンターへの移設を含む)

② ファイルサーバ及びリモートアクセスPC更新

リース期間満了に伴い、機器を更新する。

③ 基幹業務サーバー(財務系)・Web旅費サーバー更新

リース期間満了に伴い、機器を更新する。

- ④ 基幹業務サーバー(人事給与系)更新
リース期間満了に伴い、機器を更新する。
- ⑤ らくらく定期サーバー更新
リース期間満了に伴い、機器を更新する。
- ⑥ 就業情報サーバー更新
リース期間満了に伴い、機器を更新する。
- ⑦ 規定サーバー更新
リース期間満了に伴い、機器を更新する。
- ⑧ 人事給与システム更新
サーバーリプレースに伴い、システムを更新する。
- ⑨ 学術情報ネットワーク〔SINET回線費用〕(DC - SINET間)
ネットワークシステム更新に合わせ、移行作業を実施する。

【教育課程の充実】

◎女子大学関係

① 平成22年度カリキュラムの進行

女子大学は、文学部の改組とともにマネジメント学部を創設して2学部体制となった平成14年以降、4年ごとに改革に着手している。

平成18年度には文学部にコミュニケーション文化学科、マネジメント学部には生活環境マネジメント学科を設置、平成22年度には文学部に現代文化表現学科、マネジメント学部には観光マネジメント学科を設置した。その間、短期大学部を閉学し、平成20年度にはその跡地を文京キャンパスとして再開発し、段階的に10月より3年生のみが、平成21年度より全学部の3・4年生が文京キャンパスで学ぶこととなった。念願であった「都心の女子大」としてデュアル・キャンパス化のスタートである。茗荷谷の地は交通至便であり、就職活動をはじめ学生の諸活動の幅も広がっている。

平成22年5月には、大学の位置変更の届出を文部科学省に提出して受理された。これをもって正真正銘の都心に本部を有する「東京の女子大学」となった。

平成22年度のカリキュラムは、新設学科の専門科目の開設ならびに細かい部分での一部改正は別にして、全体としては平成18年度カリキュラムの踏襲となっている。外部団体の協力によるネイティブ教員による実践的な応用英語のほか、学生及び社会人として必要とされるマナーについて実践を伴いつつ社会で通用する心と常識を修練する科目「ソーシャルマナー」等、大学1年生全員を対象とする「社会人形成科目」はそのまま活かしている。

また、文学部にあっては、2年生全員を対象とした専門分野の研究の基礎となる力を培う科目として「研究入門」を、マネジメント学部にあっては、2年生全員を対象とし、科目の中にインターシップを必須として組み込んだ「実践ゼミナール」を、全学共通科目にあっては、e-learningを取り入れた「英語マルチメディアレッスン」を継続している。

新座キャンパスにおける1・2年次の科目は、基礎・入門・総論・基幹といった名称の科目区分で構成されているが、文京キャンパスにおける3・4年次の科目は、各論・特殊講義・演習・展開といった専門的な、絞り込んだ内容の科目区分で構成されている。

一方、正規のカリキュラムとは別個に、ネイティブ教員による「跡見英会話サロン」を新座・文京の両キャンパスに開設し、授業とは別に自由にネイティブと英会話を楽しむことのできる環境を整えた。

平成22年2月に「大学設置基準」が一部改正され、平成23年4月から、「大学は、当該大学及び学部等の教育上の目的に応じ、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整える」(第42条の2、新設)ことが必須となった。

即ち、正課教育の中でキャリア形成を支援するように授業を工夫することあるいは授業科目そのものを開設することが求められ、併せて課外においても低学年に対する実施も含めたキャリア・ガイダンス、セミナー等の充実等の取組が求められている。

然るに、本学においては、平成18年度カリキュラムにおいてそのことを「社会人形成科目」としてすでに開講・実施済みであり、他に先駆けたカリキュラム設置はまさに先見の明があったといえよう。

平成24年度においては、平成22年度カリキュラムが進行3年目となり、平成22年度開設の新学科（文学部現代文化表現学科、マネジメント学部観光マネジメント学科）の3年生が初めて文京キャンパスに通うこととなる。

また、平成24年の2月には、平成26年度改革に向けた「学部設置準備委員会」が外部有識者を交えて発足し、平成24年度中の答申に向けて具体的な検討に入っている。

◎中学校高等学校関係

高度な大学進学実績を目指す方向に舵を切るため平成20年度見直した教育課程を継続。

高等学校については、受験類型別高3選択パターンを明確にし、生徒が自らのパターンを決め、そのパターンの中で生徒が自分の進路に必要な科目を選択するとの観点に基づいて、「英語演習」の必修化及び「国語表現」を軸とする教育課程を実施する。また、平成24年度指導要領改定に際し、進学コース別のカリキュラムを決定した。

中学校（1・2年は8クラス編成）の教育課程については、中学1年の数学を4時間（週単位、以下同じ）から5時間に増やすため、音楽2時間及び美術2時間をそれぞれ0.5時間ずつ、合計1時間削って、数学の時間増に充てることを継続。

全校で、漢字検定（2級未取得者）及び英語検定（中学3年・3級未取得者、高校2年・2級未取得者）の受検を必修とする。

また、教育課程の進度に遅れた生徒の救済のための補習については、中学1～3年について、週3日第7時限目を活用し、定期考査ごとに10～12名程度を指名することにより、国数英の3教科の補習をチームティーチングによって行う。

中学1年生～高校2年生を対象に、英語特別クラスを設置し、昨年同様、週1日第7時限目を活用し、1学年10～12名に対し、ネイティブスピーカーによる多読力、ライティング力、リスニング力強化の授業を行う。

また、昨年同様、中学2・3年生を対象に夏期休業中に5日（計20時間）、1学年2クラス（1クラス10～12名）に対し、ネイティブスピーカーによるリーディング力、ライティング力、スピーキング力強化の集中授業を行う。

新たに、中学校・高等学校に1クラスずつ帰国生クラスを設置し、英語圏からの帰国生の英語力維持及び、さらなる学力の向上を目指す。

全校で、G-TEC（スコア型英語検定試験）の受検を必修とし、進学実績と密接に結びつく英語力の向上を目指す指導手段とする。

なお、従来から実施されている学校行事については、原則これを削減しないこととしている。

【広報活動】

① 『ブロッサム』の年2回刊行（33号、34号）

大学・中学高校の特色ある教育活動・教育改革の具体的紹介、デュアル・キャンパスの様子、文京区との連携、財務情報の公開等、さまざまな切り口から跡見の世界を広く伝える。（各回約65,000部制作、校友への発送約50,000部）

② Web環境の整備

学園ホームページの更新、校友メールマガジンの配信等の充実を図りつつ広報用のWeb環境を引き

続き整備する。また、高校生96%が所持している携帯を活用して、大学の情報をメールマガジンとして配信するなど、受験生に直結するWebによる広報の方法も考える。

学園ホームページについては、平成23年12月にホームページ再構築推進委員会を発足させ、かつ、1月から2月にかけては、女子大学・中学高校それぞれのホームページの現状について第三者による外部評価を受け、翌24年度については、その指摘事項も踏まえて、女子大学・中学高校を統一的に、かつ各校の情報をわかり易く伝えられるよう、12月を目途にリニューアルを実施する予定である。

③ 入試アドバイザーによる高校訪問の強化（13年目）

平成24年度も、進学説明会をはじめ、多様な広報媒体と連携して、引き続き入試アドバイザーによる高校訪問を強力に行い、志願者増の成果に結びつける。

④ 就職広報の充実

卒業生の採用価値を高めるため、実業界向け媒体への就職広報や企業人事担当者との就職懇談会を引き続き充実させる。

⑤ 文京キャンパスを中心とした新たな広報の推進

ホームページ等の学園Webサイトや文京区の広報誌等を活用し、文京キャンパスの都会的なイメージを積極的に広報する。

⑥ 大学院広報の強化

雑誌広告などの掲出を通じて、社会一般における跡見大学院の認知をより徹底させる。

⑦ 広報委員会による広報活動

平成18年度において、それまで各機関で独自に行っていた広報媒体を取捨選択し、駅ポスターやグッズなど一括運用することとし、平成19年度には、翌20年度の文京キャンパスの開校に伴うデュアル・キャンパス化と平成20年6月のメトロ副都心線開業により渋谷～志木が一本に繋がることをイメージした新たなデザインの「A」のロゴを制作し、以降、通年掲出の東急線エチケットボード、メトロ3駅（茗荷谷・護国寺・副都心線渋谷）のホーム電飾看板、時期的な集中掲出による東横線渋谷駅における斬新な巨大ポスター、メトロ新型車両のドア上ビジョンでのCM放映、5私鉄43駅の専用掲示板へのポスター、埼玉東部・北部地域のJRポスター等で活用して来ているところである。

とくに、メトロ副都心線の開業は、東上線志木から若者に人気のある街である池袋・新宿三丁目・原宿を経由して渋谷まで乗り換えなしの最短32分（急行）で繋がることから、文京キャンパスはもとより新座キャンパスの利便性についても、開業と同時に副都心線渋谷駅の地下ホームに電飾看板を設置するとともに、副都心線・有楽町線の新型車両のドア上メトロビジョンに動画によるCMを放映してPRに努めた。当該車両は東上線川越市、西武池袋線小手指方面にも乗り入れており、その広報範囲は当該メトロ線内に留まらず私鉄沿線の郊外にまで及んでいる。

平成23年度には、翌年度内には東急東横線と副都心線が直結し相互乗り入れとなり、東武東上線・副都心線・東横線・みなとみらい線が1本に繋がることから、「A」のロゴの起点をYOKOHAMAに変更し、それをストレートに表現した2作目のメトロビジョンCMを制作・放映し、城南地区・横浜から乗り換え無しで1本という利便性をPRした。

平成24年度は、開通日は現段階では未定ではあるが、横浜の「元町・中華街」から「志木」までが1本で結ばれることとなる年度であり、これまでの集大成としての広報を展開する予定である。

さらに、平成27年度頃には、計画では東横線と相鉄線が相互乗り入れとなるため、中学高校にとっては相鉄沿線からの利便性についても広報できる可能性を大いに含んでいる。

また、平成19年度に300名を超える中学高校生のアンケート協力を得て、受験生の目線を重視したものをという共通認識のもと、本学園ならではの受験生用グッズを考案・制作し、オープンキャンパス、学校説明会等のさまざまな場面で配布している。従来からのシャープペンのもとより、平成20年度には手提袋、ガム、ドロップ、鏡、中学高校用定期入を、平成21年度には塩ビ製小型手提袋、ポストイット、塾カバン用ベア反射板を、平成22年度には清涼ドロップ（ミンティア）、消えるマーカーペン、封筒型クリアファイルを制作・配布し、どれも好評を博している。

平成23年度には和テイストのあぶらとりがみ、真夏のオープンキャンパスの施設見学のための日除け傘、消えるサインペン、バラの香り付き団扇を制作・配布した。平成24年度には、従来の制作品のほかに、手帳等に自在に着脱可能な小さな付箋ケースを制作する予定である。

一方、一般向け広報行事としては、平成19年度に働きながら子育て中の著名な3人の女性をパネリストに迎えたシンポジウムを実施し、平成20年度には文京キャンパスのリニューアル・オープンを記念して、社会の第一線で活躍しつつ子育てを経験した著名な3人の女性をパネリストに迎えたシンポジウムを実施した。

平成22年度には、大学の新学科開設記念として放送、出版、舞台でそれぞれ表現活動を行う著名な女性3人をパネリストに迎えたシンポジウムを実施した。

また、中学高校でも平成21年度より社会の各方面の第一線で活躍する卒業生を迎えて教育シンポジウムを毎年開催しており、平成24年度も継続実施する予定である。

雑誌等による一般向け広報としては、平成19年度より、読売ウィークリー、週刊朝日等の雑誌の表4にイメージ広告を掲載してきたが、平成20年度には残念ながら読売ウィークリーが休刊となり、代わりに全日空の機内誌『翼の王国』12月号にビジネスマンである受験生の父親層向けの斬新な広告を掲出した。

平成22年度には40万部発行の週刊マンガ日本史の表4へ3回（福澤諭吉、板垣退助／大隈重信、平塚らいてう／与謝野晶子）、新週刊マンガ日本史の表4に1回（千利休）の広告を掲載した。平成23年度にも新週刊マンガ日本史の表4に3回（平賀源内、篤姫、渋沢栄一）の広告を掲出した。

このマンガ日本史の広告展開の方法については、全7号とも当該号の主人公あるいは主な登場人物と跡見学園・跡見花蹊との関係を必ず広告文の中に盛り込んだ作りとしており、出版元の朝日新聞社では「減多にない広告の作り方だ」と評判になったとのことである。歴史があるからこそその為せる技と言えよう。

平成24年度においてもよい媒体があれば積極的に広告展開する予定である。

【収益事業】

（1）事業概要

平成24年度から、収益事業部（以下「事業部」という。）の職員は、専任職員1名（昨年度までは2名）と派遣職員1名、アルバイト職員1名の計3名の構成となる。

平成23年度から音羽駐車場は、（株）トヨタエンタプライズ（トヨタ自動車系子会社）に賃貸され、時間貸しの駐車場となった。年間賃料が19,920千円（月間1,660千円、税込）となったことで、事業部の年間経常収入の約54%を占め、経営の安定に大きく貢献している。

駐車場以外の事業部の主たる業務は、中学高校の学用品（教科書・副教材等その他指定用品）の販売が中心であり、年毎の売上差は大きくない。

<事業部の年間業務>

4月 新学期販売準備（上履、校庭履、指定用品等）

中・高生教科書販売

ランチ販売

団体保険、損害保険代理店業務

駐車場賃貸

5月 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売、幹事会・父母会等飲料水販売

収益事業決算

7月 中・高生夏期講習用テキスト販売

中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売

8月 夏期休業

- 9月 中・高生新年度用教科書・教材問合せ準備
 中学校・高校体育祭飲料水販売
 中学校・高校文化祭飲料水・入試問題集・グッズ等販売
- 10月 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
 中学校新入生用学用品発注
- 11月 中・高生新学期用教科書入荷
 中・高生用副教材発注準備・教師用指導書発注
 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
- 12月 中・高生新学期用教科書入荷
 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
 中学校帰国生入試関係準備
- 1月 中・高在校生教科書副教材申込・集計等
 中・高生新学期用副教材の発注
- 2月 中学校新入生副教材・学用品販売
- 3月 中・高在校生教科書・副教材販売（2月下旬から3月上旬）
 中学校・高校卒業式飲料水等販売
 中・高生新学期用物品等準備
 棚卸し（月末）
 予算編成

(2) 予算概要

平成24年度収益事業部予算書
 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増・△減
経常収入			
商品売上収入（*）	6,500,000	6,300,000	200,000
書籍売上収入（*）	4,500,000	5,000,000	△500,000
生保取扱手数料	150,000	150,000	0
損保取扱手数料	800,000	800,000	0
駐車場賃貸料収入	19,920,000	18,924,000	996,000
不動産賃貸料収入	3,220,000	3,220,000	0
雑収入	1,400,000	1,400,000	0
経常収入 計	36,490,000	35,794,000	696,000
経常支出			
人件費	12,000,000	16,500,000	△4,500,000
委託管理費	996,000	946,000	50,000
減価償却費	0	0	0
租税公課	6,200,000	5,700,000	500,000
諸経費	3,500,000	3,000,000	500,000
経常支出 計	22,696,000	26,146,000	△3,450,000
経常利益	13,794,000	9,648,000	4,146,000
当期純利益	13,794,000	9,648,000	4,146,000

(*) 売上高ー売上原価

Ⅱ. 設置校が取り組む事業計画

【女子大学】

平成23年3月における大震災およびその後遺症からの回復過程にあって、大学を取り巻く環境は厳しさを増し、社会のグローバル化は大学の教育課程に変革を求める一因ともなっている。

本学あっては、新しい教育課程を構想することと2つのキャンパスを合理的に整備すること、この両者を統合的に調整することの困難に直面している。

このような環境にあって、さしあたり新座キャンパス1号館の耐震化および新座キャンパス学生食堂の整備を先行的に行い、中・長期の構想をさらに慎重に具体化してゆく。

I 教育研究

1. 学部等の改革

- ① 平成22年度設置学科とその経過
- ② 新たな教育課程の準備
既存学部学科教育課程の検討
新学部学科構想の検討

2. 諸規程の点検・整備

3. カリキュラムの点検

4. 教育研究支援

- ① 教員評価結果の検証
- ② 教育研究体制の充実
- ③ FD活動の継続実施
- ④ 学外研究費の獲得

5. 学生支援

- ① 各種奨学金（一紫会、後援会による奨学金）
- ② 就職支援体制の全学的取り組み

6. ステークホルダーとしての保護者サービス

- ① 保護者対象大学説明会の実施（5年目）

7. 学園140周年、大学50周年記念行事の準備

- ① 大学50年史の刊行準備

Ⅱ 管理・運営

1. 大学管理・運営の点検・整備

2. 事務組織の点検に基づく将来構想

Ⅲ 施設設備

1. デュアル・キャンパスのあり方の検討

Ⅳ 広報・学生募集

1. 学部学科理念の確認
2. 入学試験制度の再検討

V 学外団体との交流

1. 国内

- ① マネジメント研究科と立教大学21世紀社会デザイン研究科との交流
- ② 文京区内大学との交流
- ③ 埼玉県内大学との交流
- ④ 彩の国大学コンソーシアム
- ⑤ 高等学校との交流

2. 国外

- ① 夏期語学研修による海外の大学との交流
- ② 上記以外の海外の大学との交流

VI 地域との交流・地域貢献

1. 文京区との提携
2. 新座市との提携

VII 点検評価

1. 大学基準協会による評価に基づく改善
2. 平成27年度大学評価に対する対応指針の策定準備

【中学校高等学校】

<基本方針>平成24年度は、23年度事業計画を継続しつつ、特に教育目標達成のために教員の教育力の向上と教員の意識の向上を図る。

I 教育目的

学祖の目指した女性としての自律し自立するための知、情、意のバランスの取れた発達による全人教育を中高一貫教育の教育システムの中で実践する。

II 教育目標

上記の目的達成のため以下の教育目標を掲げる。

- 1 生活指導面
中学生：基本的生活習慣の確立と自己分析（集団の中における自己の役割・個性）
高校生：個性を伸張させる仲間との連携と人生計画
- 2 学習指導面
中学生：学習に向き合う姿勢の継続と基礎学力の育成
高校生：自己の進路目的に向けた学習応用力の養成

○ 教育目標の具体化～生活面

生活面においては集団における個、個と集団の関係は机上の学習のみでは習得が不可能である。そのため、昨年より新たに実践した事業を含め、従来から実践している事業を継続する。

- 1 全校的：全生徒 担任による個人面談の実施（4月・10月）
「生徒面談記録簿」を校務システムの中に取り入れ、全生徒の面談記録を残す
体育祭（9月）
文化祭（9月）
音楽会（6月）
遠足（5月）
候補地を絞り、学年ごとに行動
中学1年 高尾山

中学2年 金時山
 中学3年 筑波山
 高校1年 パノラマ台
 高校2年 榛名湖周辺
 高校3年 森林公園

校外見学 (11月)

学年ごとに行動

海外語学研修 (7月～8月)

・オーストラリア、クイーンズランド州ブリスベン、14日間

現地校の授業参加、少人数英語授業受講

スキー教室

2 中学生 : コミュニケーションスキルの育成

【ワークショップ内容】

中学1年生 テーマ: 友達を増やそう

- ・友達づくりのはじめの一步 ~跡見学園に入学してよかったと思えるような楽しい時間を過ごす
- ・力と知恵を合わせて ~協力の必要性・方法を知る 協力後の充実感を知る

中学2年生 テーマ: 仲間のよさを見つけよう

- ・温かい心を届けよう① ~相手の状況に応じた、気持のよい誘い方を知る
自分の気持ちを伝える返事の仕方を知る
- ・温かい心を届けよう② ~ほめることで相手との関係がよくなることを知る
ほめるとき、状況にあったほめる言葉を知る

中学3年生 テーマ: 大人になる準備をしよう

- ・大人の世界へようこそ① ~自分で問題解決することができるようにする
- ・大人の世界へようこそ② ~自分の進路は自分で選択できるようにする

- 3 悩みを持つ生徒に対して: ティームで取り組む (段階別に、担任、学年主任、保健主任、校務部長、副校長、カウンセラー)
- 4 危機管理に関する見直し: 通常授業時、宿泊行事時、いじめ等生徒に対する効果的な「声かけ」を共有し、実施する
- 5 中学1年: 新入生出校日における講話の充実
- 6 中学1年: 自然教室 北軽井沢にて3泊4日 (7月～8月)
鬼押出し園と溶岩樹型群・観察の森・孀恋郷土資料館・鎌原観音堂見学
- 7 中学2年: 自然教室 丸沼3泊4日 (6月)
湯滝・竜頭の滝見学、日光白根山登山、尾瀬ヶ原散策
- 8 中学3年: 修学旅行 広島2泊3日 (9月)
被曝体験者の方と一緒に平和記念公園にて碑めぐり、広島平和記念資料館見学、放射線影響研究所・広島大学原爆放射線医科学研究所・本川小学校訪問、大久野島フィールドワーク、似島フィールドワーク
- 9 高校1年: オリエンテーション 箱根2泊3日 (4月)
職業調べ、外部講師・卒業生による講演、相談、グループワーク
- 10 高校2年: 研修旅行 奈良・京都4泊5日 (9月)
東大寺・法隆寺・奈良公園・東寺など見学、クラス別・グループ別行動

○ 教育目標の具体化～学習面

学習面では以下の事業を行う。

- 1 全校: 全校漢字テスト、読書感想文、夏期・冬期補講、業者による学力テスト (中学: ベネッセ 高

校：ベネッセ 駿台予備校)、漢字検定・英語検定必修

ベネッセファインシステムを導入し、生徒の進路指導・学力の客観的な分析・入試の予測や結果分析に利用

- 2 全 校：年間を通して授業曜日数を平均化する
- 3 全 校：積極的に外部のコンテスト等に出場するよう指導
- 4 中学生：茶道裏千家の作法習得
- 5 中学生：国語・数学・英語 遅れてしまった生徒対象にチームティーチングによる補習
- 6 中学1年～2年：英会話クラス設置（7限目）
- 7 中学2年～3年：英語の成績優秀者で希望する生徒に対し、英語夏期集中クラス設置
- 8 中学1年～2年：8クラス
- 9 中学3年：英語は1クラス2分割
- 10 高校生：全学年「英語演習」必修
- 11 高校生：英語特別クラスの設置
- 12 高校1年：「英語演習Ⅰ」を学校設定科目とする
- 13 高校3年：受験指導の徹底を図る
例 「国語表現」で充実した小論文指導を行う
- 14 高校3年：難関大学受験クラスの設置
対象 : 高校3年生で希望する生徒
日時 : 4月～12月まで 週1回 7時限目相当
クラス : 難関大学受験 国語
難関大学受験 理系数学
難関大学受験 文系数学
難関大学受験 英語
授業内容 : 国公立・早大・慶大・理科大受験に対応するハイレベル
- 15 国語科：能・狂言、歌舞伎、文楽、雅楽鑑賞
- 16 社会科：隅田川周辺、江戸東京博物館見学、東京地方裁判所にて刑事裁判傍聴
- 17 数学科：中学3年～高校1年 習熟度授業 2クラス2分割
- 18 理科：小石川植物園、葛西臨海水族園、上野動物園、鹿島技術研究所見学
- 19 家庭科：テーブルマナー、食卓作法講習会、江戸東京たてもの園見学
- 20 音楽科：合唱コンクール
- 21 英語科：スピーチコンテスト
- 22 進路ガイダンス・キャリアガイダンスの充実を図るプログラムの作成（教務と進路の提携）
- 23 個人の学習到達目標を6年のスパンとする学力試験への変更

○ 対教員

講師による研修の定例化

○ 検討事項

海外語学研修の充実 ～姉妹校提携を視野に入れる

Ⅲ 新規事業

○ 生活面

災害対応の徹底

- ・防災備蓄品のさらなる充実
- ・新入生への「災害対応マップ」、「災害対応マニュアル」活用の徹底

○ 学習面

1 高校2年生に難関大学受験クラスの設置

対象 : 高校2年生で希望する生徒

日時 : 1月以降 週1回 7時限目相当

クラス : 難関大学受験 国語

難関大学受験 数学

難関大学受験 英語

授業内容 : 国公立・早大・慶大・上智大・理科大受験に対応し、ハイレベルの内容を含みながら、生徒の理解力を向上させる

費用 : 教材費のみ徴収

2 高校カリキュラムの全面的見直し ～コース制の設置

高校2年生

・私立文系 コース

・国公立文系 コース

・理系

高校3年生

・私立文系1 コース

・私立文系2 コース

・国公立文系 コース

・私立理系 コース

・国公立理系 コース

○ 総合

1 平成23年度実施の学校評価のクロス集計の分析

集計結果を分析することにより、本学の教育内容の実態を把握する。そして、具体的な対策を進める。

2 平成24年度入試振り返り

- ・入試の反省における資料の提示。手続放棄者と辞退者の識別
- ・学校説明会（7月）における平成24年度入試の問題解説

IV 教員の教育力の向上をめざして

生徒の指導に当たる教員一人ひとりの能力を高め、教師集団としての教育力の向上を目指して次の目標を掲げる。

- 1 教員の教科指導力の向上
- 2 教員のクラス経営、保護者との対応等マネジメント能力の向上
- 3 教員の協働意識の向上

上記の目標達成のために次の事業を行う。

- 1 教員の教科指導能力の向上のために
 - ・教員の相互授業参観ならびに意見交換
 - ・研究授業による自己研鑽
 - ・校長・副校長による授業参観
 - ・生徒による授業評価
- 2 教員のクラス経営、保護者との対応等のマネジメント能力向上のために
 - ・若手と経験豊富な教員との教育実践の交流・意見交換

- ・中堅教員に対する実践力アップのための研修提供

例：授業学研究所主催 教員養成講座 [中級] 2時間×10コマ

第1回	生徒指導	2時間×2コマ
第2回	家庭学習管理	2時間×2コマ
第3回	保護者対応	2時間×2コマ
第4回	教育コーチング	2時間×2コマ
第5回	モチベーションアップ	2時間×2コマ

- ・若手教員に対する実践力アップのための研修提供

例：授業学研究所主催 教員養成講座 [初級] 3時間×4コマ

第1回	「学習する空間づくり」, 行動力トレーニング	
第2回	インタビュートレーニング, スピーチトレーニング	
第3回	授業規律トレーニング①, 単指示トレーニング	
第4回	授業規律トレーニング②, 修了検定	

3 教員の協働意識の向上のために

- ・新入生出校日に合わせた新人教員への訓話
- ・各校務主任による新人教員への研修
- ・校長の新任教職員への個人面談、授業参観

V 入試広報関係

平成24年度入試の反省と25年度に向けて

- 1 平成25年度帰国生に関する検討
- 2 平成25年度入試業務の更なる見直し
- 3 卒業生を迎えてのシンポジウムの継続

11月24日(土) シンポジウム「マイ・ライフ」

山崎一穎理事長・本校卒業生 李子記念講堂又はプロッサムホール

4 学校説明会日程表

○ 外部主催

4月29日(日)	女子校アンサンブル	学習院女子大学
5月20日(日)	東京私立中学合同相談会	東京国際フォーラム
5月27日(日)	ベネッセ進学フェア	東京国際フォーラム
6月16日(土)	上野松坂屋・私立中高進学相談会	上野松坂屋
6月17日(日)	受験なんでも相談会	新宿NSビル
6月24日(日)	文京区私立中学高等学校連合進学説明会	秋葉原UDX
6月30日(土)	市進ウイングネット・市進学院合同相談会	すみだ産業会館
7月1日(日)	日能研 私学フェア	学習院大+慶大日吉
7月28日(土)	海外帰国子女進学相談会	アーク森ビル
7月29日(日)	帰国子女相談会	実践女子学園
7月31日(火)	帰国生のための学校説明会・相談会	青少年総合センター
8月18日(土)	東京私立学校展	東京国際フォーラム
8月19日(日)	東京私立学校展	東京国際フォーラム
9月2日(日)	TOMAS受験相談会	新宿NSビル
10月21日(日)	池袋進学相談会	池袋サンシャイン

○ 本校主催

5月10日(木) 塾の先生対象 10:30~12:20

5月12日(土)	保護者対象	10:30~12:20
6月23日(土)	小学生対象 クラブ発表会	14:00~
7月7日(土)	保護者対象	10:30~12:20
9月7日(金)	保護者対象	18:00~
9月15日(土)	保護者対象 (文化祭)	9:00~16:00
9月16日(日)	保護者対象 (文化祭)	9:00~16:00
10月15日(月)	塾の先生対象	10:30~12:20
11月10日(土)	保護者対象	10:30~12:20
11月17日(土)	小学生対象 体験授業	14:00~
11月24日(土)	シンポジウム My Life	
12月1日(土)	保護者対象	10:30~12:20

○ 本校における各塾主催

・SAPIX	5月14日(月)	10:30~12:20
・市進	5月15日(火)	13:00~14:50
・早稲田アカデミー	6月9日(土)	10:30~12:20
・四谷大塚	6月11日(月)	10:30~12:20
	10月14日(日) 含 模擬試験	8:30~11:30
	11月11日(日) 含 模擬試験	8:30~11:30
	12月9日(日) 含 模擬試験	8:30~11:30
・栄光ゼミナール	6月12日(火)	13:00~14:50
・TOMAS	6月28日(木)	10:30~12:20
・日能研	12月2日(日) 含 模擬試験	8:30~11:30

Ⅲ. 平成24年度事業計画の事業費及び実施予定

【施設環境の整備】

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
大学	新) 仮設校舎の設置	4,720	年間リース料	
	新) 1号館耐震補強工事	170,000	8・9月	
	新) 食堂棟1階トイレ改修工事	9,000	5月	
	新) 災害用発電機設備 (LPガス利用) 設置	1,722	5月	
	文) 1・3号館建物外壁劣化診断	2,770	12月	
	新) クラブハウス屋上及び外壁補修工事	18,000	8月	
	新) 図書館照明改修工事	22,400	8月	
	備蓄用品購入	4,682	4月	

文)：文京キャンパス 新)：新座キャンパス

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
中高	自家発電設備設置 (上水・雑排水系統)	13,000	8月	
	発電機購入	800	4月	
	昇降階段 (段鼻) タイル張替	3,990	8月	
	記念講堂外部入口建具改修	1,155	8月	
	生徒用ロッカー更新	22,500	3月	
	跡見講堂裏階段塗装工事 (大アリーナ洗い場改修含)	2,772	8月	
	特別教室カーテン更新 (図書館以外)	2,178	8月	
	各教室時計更新	1,300	8月	
	大アリーナバスケットコートライン引き直し	966	4月	
	選択教室改修工事 (中学2年8クラス編成)	2,400	4月	
	プールタイル目地改修及び滑り止め処理工事	2,888	3月	
	大アリーナ舞台機構設備改修工事	9,975	8月	
	大アリーナ舞台照明設備改修工事	15,120	8月	
	校舎内塗装工事 (大アリーナ・校舎間廊下壁・天井)	3,654	8月	
	空調設備改修工事 (第1期)	81,800	8月	
備蓄用品購入	263	4月		

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
法人	屋上防水工事	8,000	5月	
	備蓄用品購入	137	8月	

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
北軽井沢 研修所	給湯配管更新工事 (3期)	5,580	7月	
	防災盤及び電話設備改修	2,500	7月	

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
学生寮	給茶機更新	400	4月	

【情報環境の整備】

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
大学	卒業生等の単位修得証明書等の電子ファイル化	11,371	12月	
	文) 2号館マルチメディア学習ラボ設置	16,961	8月	
	新) 図書館視聴覚ホールAV関連機器改修工事	14,805	8月	
	新) 証明書発行機ICカード化対応	1,050	8月	
	ネットワークシステム更新	98,217	8月	
	リプレイス対象外のサーバ移設作業及び再設定費 (DC設置)	5,392	8月	
	文) 証明書自動発行機更新	10,763	3月	
	新) 出席管理システム更新	5,352	3月	
	新) 3号館インタラクティブスペースPC更新	3,933	9月	
	文) 1号館教員研究室・2号館ミーティングルームPC更新	3,505	9月	

文)：文京キャンパス 新)：新座キャンパス

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
中高	ネットワークシステム更新	15,970	8月	
	校務システム機器更新	3,373	8月	
	Webサーバー更新	855	8月	
	李子記念講堂AV設備改修工事	44,000	8月	

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
法人	ネットワークシステム更新 (DC設置含)	45,536	8月	
	ファイルサーバ及びリモートアクセスPC更新	3,959	8月	
	基幹業務サーバー(財務系)・Web旅費サーバー更新	4,406	8月	
	基幹業務サーバー(人事給与系)更新	926	8月	
	らくらく定期サーバー更新	942	8月	
	就業情報サーバー更新	2,263	8月	
	規定サーバー更新	784	8月	
	人事給与システム更新	13,125	8月	
	SINET回線費用(DC - SINET間)	5,722	8月	

【広報活動】

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
法人	ブロッサム発行・郵送	17,690	7月、1月	33号、34号
	WEB環境の整備（校友メールマガジン配信、ウェルカムナビ等）	3,257	通年	
	イメージ広告等			
	①駅ポスター・メトロビジョン・雑誌等へのイメージ広告	12,432	随時	東横渋谷駅Big10など
	②中高受験雑誌、父親層向け経済誌等への広告	630	春・秋	『週刊ダイヤモンド』受験特集号
	③グッズ制作（手提袋、あぶらとりがみ、文房具など）	7,626	随時	オープンキャンパスにて配付
	学園ホームページリニューアル費用	6,200	通年	
	教育シンポジウムの実施（中高）	2,000	11月	
	評判づくり研究会（年会費）	50	通年	
	森鷗外生誕150周年記念事業への特別協賛	300	通年	
大学	高校教員対象大学説明会	900	6月	2回開催（新座・文京）
	新聞入試連合広告（朝日新聞）、雑誌広告、電車内広告等	10,862	随時	
	大学院募集広告	998	随時	
	就職関係雑誌広告	1,470	随時	
	就職懇談会	1,200	11月	
中高	雑誌等広告	2,289	随時	
	DM	500	12月	
	塾対象学校説明会	1,961	随時	

Ⅳ. 平成24年度跡見学園収支予算について

1. 平成24年度収支予算書

(1) 資金収支予算書

平成24年 4月1日から

平成25年 3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金収入	5,581,012,000	5,518,864,000	62,148,000
授業料収入	3,992,610,000	3,954,573,000	38,037,000
入学金収入	493,635,000	485,990,000	7,645,000
実験実習料収入	24,933,000	17,345,000	7,588,000
施設設備資金収入	1,001,002,000	992,748,000	8,254,000
冷暖房費収入	68,832,000	68,208,000	624,000
手数料収入	102,970,000	116,330,000	△ 13,360,000
入学検定料収入	96,100,000	109,400,000	△ 13,300,000
証明手数料収入	2,070,000	2,230,000	△ 160,000
大学入試センター試験実施手数料収入	4,800,000	4,700,000	100,000
寄付金収入	162,980,000	169,350,000	△ 6,370,000
特別寄付金収入	54,844,000	54,844,000	0
一般寄付金収入	108,136,000	114,506,000	△ 6,370,000
補助金収入	793,006,000	779,595,000	13,411,000
国庫補助金収入	341,000,000	325,329,000	15,671,000
学術研究振興資金収入	0	500,000	△ 500,000
地方公共団体補助金収入	442,340,000	445,345,000	△ 3,005,000
都私学財団補助金収入	9,666,000	8,421,000	1,245,000
資産運用収入	50,000,000	55,000,000	△ 5,000,000
受取利息・配当金収入	50,000,000	55,000,000	△ 5,000,000
事業収入	133,676,000	135,413,000	△ 1,737,000
補助活動収入	133,486,000	134,786,000	△ 1,300,000
受託事業収入	190,000	627,000	△ 437,000
雑収入	89,237,000	178,274,000	△ 89,037,000
東京都私学財団交付金収入	23,383,000	33,823,000	△ 10,440,000
私立大学退職金財団交付金収入	60,814,000	140,021,000	△ 79,207,000
その他の雑収入	5,040,000	4,430,000	610,000
前受金収入	1,306,249,000	1,392,909,000	△ 86,660,000
授業料前受金収入	563,920,000	568,372,000	△ 4,452,000
入学金前受金収入	492,585,000	508,735,000	△ 16,150,000
実験実習料前受金収入	7,344,000	7,344,000	0
施設設備資金前受金収入	223,725,000	288,060,000	△ 64,335,000
冷暖房費前受金収入	13,068,000	13,188,000	△ 120,000

補助活動前受金収入	5,607,000	7,210,000	△ 1,603,000
その他の収入	231,000,000	114,978,000	116,022,000
前期末未収入金収入	231,000,000	114,338,000	116,662,000
貸付金回収収入	0	640,000	△ 640,000
資金収入調整勘定	△ 1,479,106,000	△ 1,562,988,000	83,882,000
期末未収入金	△ 86,197,000	△ 231,547,000	145,350,000
前期末前受金	△ 1,392,909,000	△ 1,331,441,000	△ 61,468,000
前年度繰越支払資金	7,433,859,000	7,800,412,000	△ 366,553,000
収入の部合計	14,404,883,000	14,698,137,000	△ 293,254,000

支出の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人件費支出	3,565,243,000	3,756,685,000	△ 191,442,000
教員人件費支出	2,350,937,000	2,333,167,000	17,770,000
職員人件費支出	1,078,064,000	1,101,779,000	△ 23,715,000
役員報酬支出	34,921,000	48,968,000	△ 14,047,000
退職金支出	101,321,000	272,771,000	△ 171,450,000
教育研究経費支出	1,271,479,000	1,301,558,000	△ 30,079,000
準備品費支出	1,151,000	752,000	399,000
消耗品費支出	100,633,000	97,972,000	2,661,000
光熱水費支出	133,558,000	135,200,000	△ 1,642,000
通信運搬費支出	26,274,000	26,488,000	△ 214,000
福利費支出	25,289,000	25,858,000	△ 569,000
出版物費支出	49,198,000	50,233,000	△ 1,035,000
印刷製本費支出	53,118,000	54,673,000	△ 1,555,000
旅費交通費支出	40,626,000	32,385,000	8,241,000
奨学費支出	55,754,000	64,734,000	△ 8,980,000
修繕費支出	66,121,000	62,865,000	3,256,000
保険料支出	3,661,000	3,670,000	△ 9,000
賃借料支出	76,384,000	112,720,000	△ 36,336,000
諸会費支出	9,748,000	9,342,000	406,000
学生・生徒会補助金支出	3,848,000	3,848,000	0
広告費支出	5,862,000	5,922,000	△ 60,000
会議費支出	285,000	290,000	△ 5,000
食事費支出	8,974,000	9,228,000	△ 254,000
支払手数料支出	7,112,000	6,563,000	549,000
教育実習謝礼支出	1,050,000	950,000	100,000
渉外費支出	3,338,000	3,985,000	△ 647,000
業務委託費支出	599,173,000	593,553,000	5,620,000
雑費支出	322,000	327,000	△ 5,000
管理経費支出	781,116,000	764,547,000	16,569,000

消耗品費支出	36,640,000	26,276,000	10,364,000
光熱水費支出	22,202,000	21,410,000	792,000
通信運搬費支出	17,520,000	12,045,000	5,475,000
福利費支出	10,255,000	9,650,000	605,000
出版物費支出	1,947,000	1,939,000	8,000
印刷製本費支出	22,354,000	20,612,000	1,742,000
旅費交通費支出	14,522,000	15,534,000	△ 1,012,000
修繕費支出	15,601,000	15,088,000	513,000
保険料支出	1,481,000	1,509,000	△ 28,000
賃借料支出	105,009,000	106,588,000	△ 1,579,000
公租公課支出	2,380,000	3,388,000	△ 1,008,000
諸会費支出	8,069,000	8,184,000	△ 115,000
広告費支出	133,702,000	133,211,000	491,000
会議費支出	1,883,000	1,968,000	△ 85,000
食事費支出	4,398,000	4,410,000	△ 12,000
支払手数料支出	14,995,000	14,666,000	329,000
渉外費支出	8,273,000	8,597,000	△ 324,000
業務委託費支出	359,731,000	359,309,000	422,000
雑費支出	154,000	163,000	△ 9,000
施設関係支出	393,579,000	318,617,000	74,962,000
建物支出	393,579,000	279,617,000	113,962,000
構築物支出	0	39,000,000	△ 39,000,000
設備関係支出	292,019,000	264,282,000	27,737,000
教育研究用機器備品支出	207,094,000	221,196,000	△ 14,102,000
その他の機器備品支出	62,647,000	12,833,000	49,814,000
図書支出	22,278,000	29,458,000	△ 7,180,000
車両支出	0	795,000	△ 795,000
資産運用支出	800,000,000	800,000,000	0
建物償却引当特定資産への繰入支出	500,000,000	500,000,000	0
法人維持特定資産への繰入支出	300,000,000	300,000,000	0
その他の支出	107,000,000	116,996,000	△ 9,996,000
前払金支払支出	23,000,000	21,000,000	2,000,000
前期末未払金支出	84,000,000	95,996,000	△ 11,996,000
[予備費]	50,000,000	50,000,000	0
資金支出調整勘定	△ 117,000,000	△ 108,407,000	△ 8,593,000
期末未払金	△ 96,000,000	△ 84,000,000	△ 12,000,000
前期末前払金	△ 21,000,000	△ 24,407,000	3,407,000
次年度繰越支払資金	7,261,447,000	7,433,859,000	△ 172,412,000
支出の部合計	14,404,883,000	14,698,137,000	△ 293,254,000

(2) 消費収支予算書

平成24年4月1日から

平成25年3月31日まで

消費収入の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金	5,581,012,000	5,518,864,000	62,148,000
授業料	3,992,610,000	3,954,573,000	38,037,000
入学金	493,635,000	485,990,000	7,645,000
実験実習料	24,933,000	17,345,000	7,588,000
施設設備資金	1,001,002,000	992,748,000	8,254,000
冷暖房費	68,832,000	68,208,000	624,000
手数料	102,970,000	116,330,000	△ 13,360,000
入学検定料	96,100,000	109,400,000	△ 13,300,000
証明手数料	2,070,000	2,230,000	△ 160,000
大学入試センター試験実施手数料	4,800,000	4,700,000	100,000
寄付金	162,980,000	169,350,000	△ 6,370,000
特別寄付金	54,844,000	54,844,000	0
一般寄付金	108,136,000	114,506,000	△ 6,370,000
補助金	793,006,000	779,595,000	13,411,000
国庫補助金	341,000,000	325,329,000	15,671,000
学術研究振興資金	0	500,000	△ 500,000
地方公共団体補助金	442,340,000	445,345,000	△ 3,005,000
都私学財団補助金	9,666,000	8,421,000	1,245,000
資産運用収入	50,000,000	55,000,000	△ 5,000,000
受取利息・配当金	50,000,000	55,000,000	△ 5,000,000
事業収入	133,676,000	135,413,000	△ 1,737,000
補助活動収入	133,486,000	134,786,000	△ 1,300,000
受託事業収入	190,000	627,000	△ 437,000
雑収入	65,854,000	144,451,000	△ 78,597,000
私立大学退職金財団交付金	60,814,000	140,021,000	△ 79,207,000
その他の雑収入	5,040,000	4,430,000	610,000
帰属収入合計	6,889,498,000	6,919,003,000	△ 29,505,000
基本金組入額合計	△ 676,298,000	△ 546,899,000	△ 129,399,000
消費収入の部合計	6,213,200,000	6,372,104,000	△ 158,904,000

消費支出の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人件費	3,613,922,000	3,668,914,000	△ 54,992,000
教員人件費	2,350,937,000	2,333,167,000	17,770,000
職員人件費	1,078,064,000	1,101,779,000	△ 23,715,000
役員報酬	34,921,000	48,968,000	△ 14,047,000
退職金	0	35,000,000	△ 35,000,000

退職給与引当金繰入額	150,000,000	150,000,000	0
教育研究経費	1,974,408,000	1,978,296,000	△ 3,888,000
準備品費	1,151,000	752,000	399,000
消耗品費	100,633,000	97,972,000	2,661,000
光熱水費	133,558,000	135,200,000	△ 1,642,000
通信運搬費	26,274,000	26,488,000	△ 214,000
福利費	25,289,000	25,858,000	△ 569,000
出版物費	49,198,000	50,233,000	△ 1,035,000
印刷製本費	53,118,000	54,673,000	△ 1,555,000
旅費交通費	40,626,000	32,385,000	8,241,000
奨学費	55,754,000	64,734,000	△ 8,980,000
修繕費	66,121,000	62,865,000	3,256,000
保険料	3,661,000	3,670,000	△ 9,000
賃借料	76,384,000	112,720,000	△ 36,336,000
諸会費	9,748,000	9,342,000	406,000
学生生徒会補助金	3,848,000	3,848,000	0
広告費	5,862,000	5,922,000	△ 60,000
会議費	285,000	290,000	△ 5,000
食事費	8,974,000	9,228,000	△ 254,000
支払手数料	7,112,000	6,563,000	549,000
教育実習謝礼	1,050,000	950,000	100,000
渉外費	3,338,000	3,985,000	△ 647,000
業務委託費	599,173,000	593,553,000	5,620,000
雑費	322,000	327,000	△ 5,000
減価償却額	702,929,000	676,738,000	26,191,000
管理経費	847,421,000	818,964,000	28,457,000
消耗品費	36,640,000	26,276,000	10,364,000
光熱水費	22,202,000	21,410,000	792,000
通信運搬費	17,520,000	12,045,000	5,475,000
福利費	10,255,000	9,650,000	605,000
出版物費	1,947,000	1,939,000	8,000
印刷製本費	22,354,000	20,612,000	1,742,000
旅費交通費	14,522,000	15,534,000	△ 1,012,000
修繕費	15,601,000	15,088,000	513,000
保険料	1,481,000	1,509,000	△ 28,000
賃借料	105,009,000	106,588,000	△ 1,579,000
公租公課	2,380,000	3,388,000	△ 1,008,000
諸会費	8,069,000	8,184,000	△ 115,000
広告費	133,702,000	133,211,000	491,000
会議費	1,883,000	1,968,000	△ 85,000
食事費	4,398,000	4,410,000	△ 12,000
支払手数料	14,995,000	14,666,000	329,000

渉外費	8,273,000	8,597,000	△ 324,000
業務委託費	359,731,000	359,309,000	422,000
雑費	154,000	163,000	△ 9,000
減価償却額	66,305,000	54,417,000	11,888,000
資産処分差額	18,875,000	2,280,000	16,595,000
建物処分差額	17,685,000	0	17,685,000
教育研究用機器備品処分差額	150,000	1,200,000	△ 1,050,000
その他の機器備品処分差額	40,000	80,000	△ 40,000
図書処分差額	1,000,000	1,000,000	0
[予備費]	50,000,000	50,000,000	0
消費支出の部合計	6,504,626,000	6,518,454,000	△ 13,828,000
当年度消費支出超過額	291,426,000	146,350,000	145,076,000
前年度繰越消費支出超過額	3,998,853,000	3,852,503,000	146,350,000
基本金取崩額	68,403,000	0	68,403,000
翌年度繰越消費支出超過額	4,221,876,000	3,998,853,000	223,023,000

平成24年度 収益事業予算書

平成24年 4月1日から

平成25年 3月31日まで

学校法人跡見学園 収益事業部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
経常収入			
商品売上収入*	6,500,000	6,300,000	200,000
書籍売上収入*	4,500,000	5,000,000	△ 500,000
生保取扱手数料	150,000	150,000	0
損保取扱手数料	800,000	800,000	0
駐車場賃貸料収入	19,920,000	18,924,000	996,000
不動産賃貸料収入	3,220,000	3,220,000	0
雑収入	1,400,000	1,400,000	0
経常収入計	36,490,000	35,794,000	696,000
経常支出			
人件費	12,000,000	16,500,000	△ 4,500,000
委託管理費	996,000	946,000	50,000
減価償却費	0	0	0
諸税公課	6,200,000	5,700,000	500,000
諸経費	3,500,000	3,000,000	500,000
経常支出計	22,696,000	26,146,000	△ 3,450,000
経常利益	13,794,000	9,648,000	4,146,000
当期純利益	13,794,000	9,648,000	4,146,000

*売上高一売上原価

可 決 承 認 日

◎平成24年度跡見学園事業計画及び収入支出予算

平成24年3月27日 第313回 評議員会
第360回 理事会

◎平成23年度跡見学園事業実績の報告及び収支決算報告

平成24年5月22日 第361回 理事会
第314回 評議員会

跡見学園法人事務局 総務部庶務課



跡見学園報 第54号 別冊

発行日 平成24年 7月17日

編集 跡見学園法人事務局

発行 学校法人跡見学園

〒112-8629

東京都文京区大塚一丁目5番9号

電話 03-3941-8161

FAX 03-3941-8162

URL : <http://www.atomi.ac.jp/>